

参考見積募集要領

次のとおり参考見積を募集します。

平成30年10月18日

独立行政法人水資源機構
草木ダム管理所
所長 大村 朋広

1. 目的

この歩掛参考見積の募集は、草木ダム管理事業で予定している業務の積算の参考とするための単価見積を募集するものです。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における平成29・30年度一般競争（指名競争）参加資格業者のうち、物品等の販売の業種区分の「試験・測量・測定・観測・監視機器」の認定を受けており、かつ、営業品目の「水質分析器，理化学機器，水質汚濁監視機器」に登録していることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 当機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領（平成6年5月31日付け6経契第443号）」に基づき、利根川水系及び荒川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

- (1) 参考見積書は、消費税相当額抜きの単価を記入して下さい。
なお、参考見積書の様式は問いませんが、別紙に示す記載例を参考にわかるように記載して下さい。
また、参考見積書の作成あたり採用した機器の仕様、システム構成がわかる資料を併せて提出して下さい。
- (2) 提出期間 平成30年11月1日(木)から平成30年11月7日(水)まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、
午前9時から午後5時まで
- (3) 有効期限 平成31年3月31日(日)迄とします
- (4) 提出場所
独立行政法人水資源機構 草木ダム管理所所長 大村朋広 宛
【担当】総務グループ 國田
〒376-0303 群馬県みどり市東町座間564-6
TEL 0277-97-2131 FAX 0277-97-3035
- (5) 提出方法
書面は持参、郵送又はFAX(社印があること)により提出するものとします。

見積書の件名は、「ICP発光分光分析装置購入(仮称)」としてください。

4. 参考見積内容

(1) 基本条件

本件は、ICP発光分光分析装置及び機器処分の単価見積を徴取するものです。

ICP発光分光分析装置及び処分機器の仕様は、それぞれ別添資料-1及び2のとおりとします。

なお、単価見積の条件には、当該製品を草木ダム管理所への納品・設置、取扱説明を含むものとします。また、設置を行うにあたり既存設備(電源、排気ダクト、アルゴンガス供給弁、架台)の利用が難しい場合、受注者の責任において必要な改造作業等を行うものとします(「参考資料 ICP発光分光分析装置設置場所」参照)。

5. 募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、書面(様式は自由)により提出して下さい。

(1) 提出期間：平成30年10月22日(月)から平成30年10月29日(月)まで

持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、
午前9時から午後5時まで

(2) 提出場所：3.(3)に同じ。

(3) 提出方法：3.(4)に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

(1) 閲覧期間：平成30年10月31日(水)から平成30年11月7日(水)まで

(2) 閲覧方法：ホームページに掲載します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

8. ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

(記載例) 見積記載内容

落射型蛍光顕微鏡等購入(仮称)				
名称	数量	単位	単価(消費税相当額抜き)	備考
1. ICP発光分光分析装置	1	式		納品・設置・操作説明を含む
2. 既設装置撤去処分	1	式		サーモフィッシャーサイエンティフィック社製ICP発光分光分析装置ICAP6300Duo

別添資料-1 ICP発光分光分析装置仕様一覧

【基本事項】

【ICP-OES本体部】

品名・構成部品名等	仕様・性能
本体形状	● 卓上設置型
分光器	● エシエル分光器
測定波長範囲	● 177nm～785nmの波長が測定可能であること。
分解能	● 200nm付近で0.010nm以下であること
検出器	● CID方式もしくはCCD方式とする。 ● 検出器には、ブルーミング対策等必要な措置が施されていること。
測定方式	● マルチ型(多元素同時型)
RF電源出力	● 最大出力1400W以上であること。
プラズマ観測方向	● トーチを固定したまま、軸方向と放射光の観測が可能であること。
トーチ	● 石英トーチ ● 自動的に位置が決まり、プラズマガス・補助ガスの接続が可能な機構を有していること。
チャンバー	● 塩濃度5%までの試料に対応したスプレーチャンバーとする。
キャリアガス	● アルゴンガス

【機器制御・データ処理部】

品名・構成部品名等	仕様・性能
制御／解析プログラム	● 多成分・多検体の分析、定性、定量レポート作成をそれぞれ自動で行えること。 ● 定量機能、スペクトル測定、固定波長測定の設定が可能であること。 ● スペクトル測定において、ピーク検出などの演算ができること。 ● 固定波長測定において、測定結果の考察が簡単に行えるよう、ソフトウェアの画面表示は測定データ、検量線が1画面で同時に確認できる機能があること。
保存・読出し機能	● 測定条件の保存可能なこと。また、保存した測定条件の読出し・機器の自動再設定が可能なこと。 ● 測定データを保存可能なこと。
データ出力機能	● 測定データ及び定量結果をMicrosoft社のExcel等に取り込むことが可能なこと。

	<p>型式で出力する機能を有していること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● USBメモリー等市販の記録媒体を用いて、機器制御・データ処理部から測定データ及び定量結果を持ち出せること。
言語	<ul style="list-style-type: none"> ● 制御／解析プログラムの表示等に使用する言語は、日本語を原則とする。
印字機能	<ul style="list-style-type: none"> ● 測定データ及び定量結果レポートを印字する機能を有していること。

【周辺機器】

品名・構成部品名等	仕様・性能
冷却水循環装置	<ul style="list-style-type: none"> ● 装置に適合した冷却水循環装置を装備していること。
超音波ネブライザー	<ul style="list-style-type: none"> ● 直接導入と比べ6～10倍程度の感度向上が見込めること。
水素化物発生装置	<ul style="list-style-type: none"> ● 測定方法：連続フロー方式 ● サンプル消費量：測定1回あたり10ml以下 ● キャリアガス：アルゴンガス
その他の標準付属品	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体部、機器制御・データ処理部、周辺機器それぞれについて、上記以外にも測定に必要な付属品がある場合は、必ず1式付属させること。

別添資料-2 撤去処分対象装置一覧

【基本事項】

- 草木ダム管理所 水質試験室既設に設置された既設のICP発光分光分析装置について撤去作業を行うと共に、産業廃棄物として適切に処分すること。
- 処分に当たっては、制御PCに内蔵された記録媒体を物理的に破壊し、読み取りができない状態にすること。

【既設装置の構成】

製造社名	装置名	型式	数量	備考
サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社製	ICP発光分光分析装置	iCAP6300Duo	1台	
	冷却水循環装置	ThermoFlax900	1台	
	オートサンプラー	ASX-260	1台	
	水素化物発生装置	HYD-10U	1台	
	超音波ネプライザー	U-5000AT+	1台	
	制御PC	DELL Optiplex 990	1台	付属品 17インチTFTモニター、インクジェットプリンタ EP-302

【既設装置の設置状況】



【アルゴンガス供給弁】



【排気ダクト】



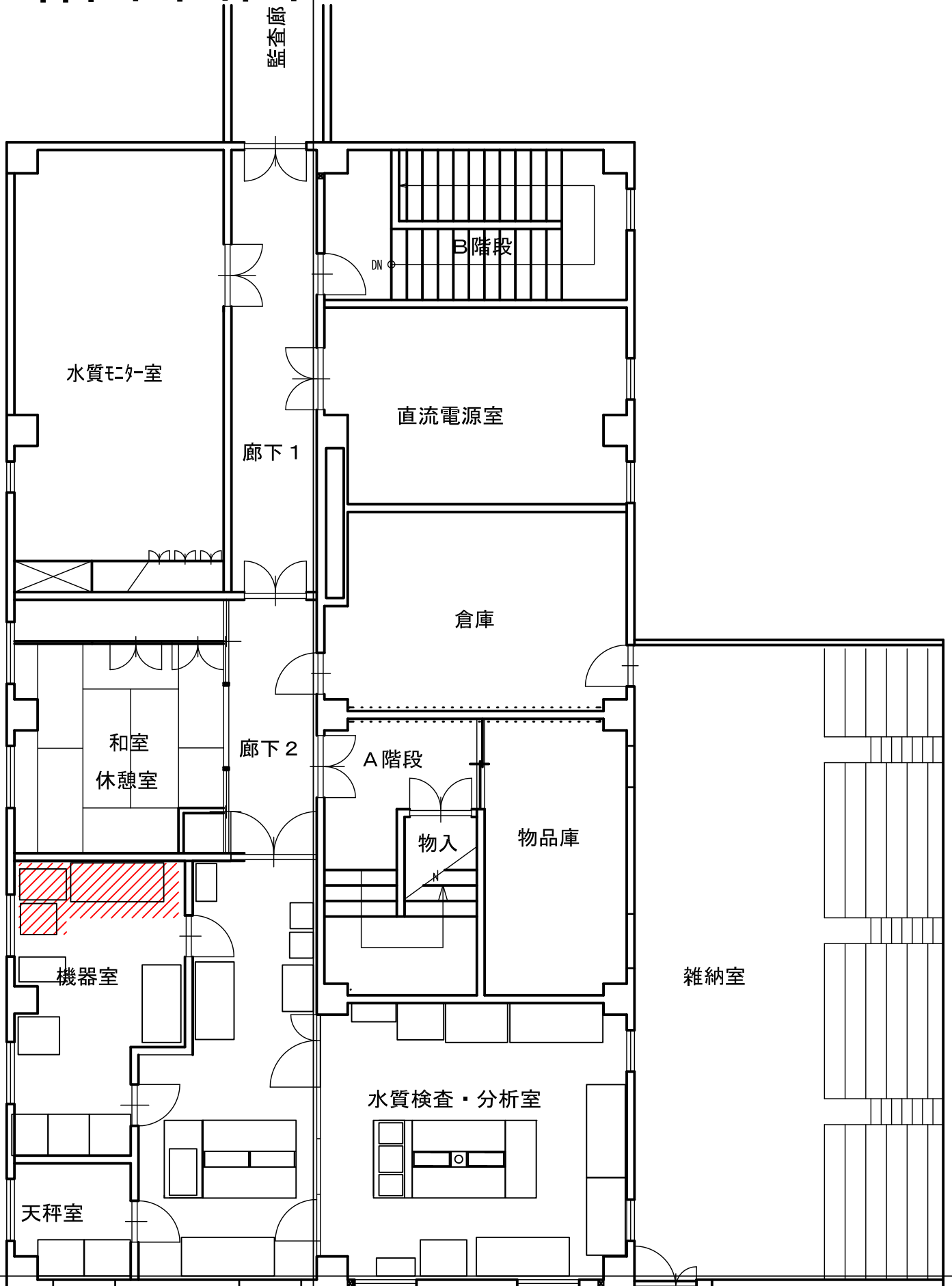
参考資料 ICP発光分光分析装置設置場所


【基本事項】

- 設置場所
 - 草木ダム水質分析室の機器室とする（参考図-1）。
 - 設置場所の大きさは、幅3.0m×奥行き1.0mとする。
 - 搬入ルートは、参考図-2のとおりとする（エレベーター利用可能）。
- 使用可能な既存設備
 - 電源
 - ◇ 単相 200V 6KvA 50Hz
 - ◇ 単相 100V 1KvA 50Hz ×3
 - 排気ダクト
 - ◇ 接合部φ0.14m ステンレス製
 - ◇
 - アルゴンガス供給弁
 - 架台
 - ◇ 架台a：幅1.8m × 奥行き 0.75m×高さ 1.0m
 - ◇ 架台b：幅0.9m × 奥行き 0.65m×高さ 1.0m
 - ◇ 架台c(PCラック)：幅0.7m × 奥行き 0.7m×高さ 1.4m

2階平面図

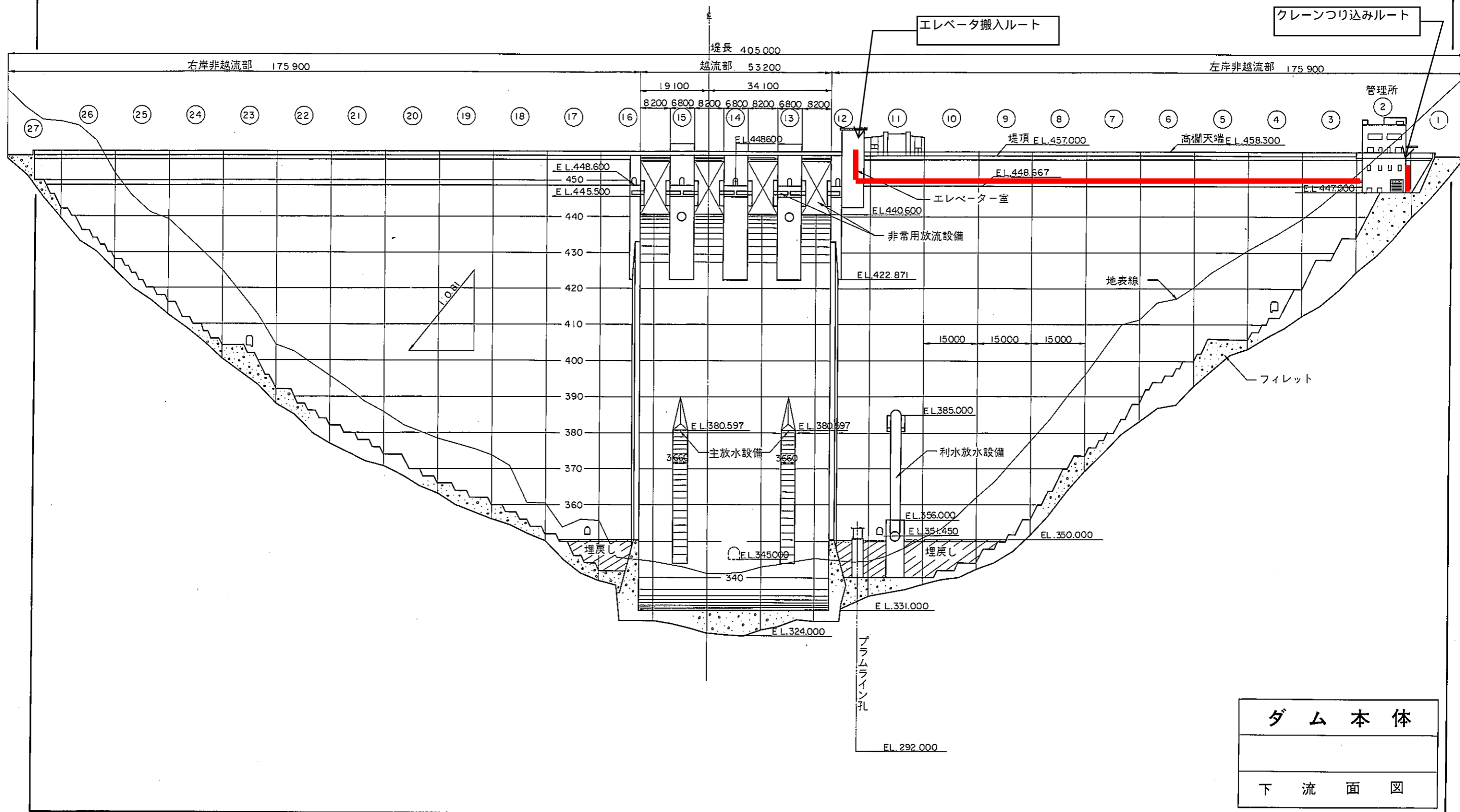
参考図1



 設置箇所

(別添図-2)
搬入経路図

草木ダム下流面図



ダム本体
下流面図